

【3-4 クリニカルクエスチョンの設定】

スコープで取り上げた重要臨床課題(Key Clinical Issue)				
<p>「存在診断」</p> <p>悪性胸膜中皮腫は、通常自覚症状から発見されることが多く、その場合は進行症例も多いため、治療抵抗性である。一方、近年における画像診断能力の急速な進歩により、検診や他疾患フォローアップ中の定期的な検査で発見される患者も増えつつある。そこで、その疾患の存在を疑う早期画像診断についてガイドラインが必要である。</p>				
CQの構成要素				
P (Patients, Problem, Population)				
性別	指定なし			
年齢	成人(18歳以上)			
疾患・病態	中皮腫を疑う集団			
地理的要件	医療体制の確立した地域			
その他	特になし			
I (Interventions)／C (Comparisons, Controls)のリスト				
I: a) 胸部造影CT、b) 胸部単純/造影CT+胸部MRI、c) 胸部単純/造影CT+FDG-PET/CT C: a) 胸部単純CT、 b) とc) 胸部単純/造影CT				
O (Outcomes)のリスト				
	Outcomeの内容	益か害か	重要度	採用可否
O1	診断率	益	9点	○
O2	安全性	害	6点	×
O3			点	
O4			点	
O5			点	
O6			点	
O7			点	
O8			点	
O9			点	
O10			点	
作成したCQ				
中皮腫の存在診断に、a) 胸部造影CT、b) 胸部単純/造影CT+胸部MRI、c) 胸部単純/造影CT+FDG-PET/CTは勧められるか？				

【4-6 評価シート 観察研究】

診療ガイドライン	中皮腫
対象	中皮腫疑い患者
介入	胸部単純/造影CT+FDG-PET/CT
対照	胸部単純/造影CT

*バイアスリスク、非直接性
各ドメインの評価は“高(-2)”、“中/疑い(-1)”、“低(0)”の3段階
まとめは“高(-2)”、“中(-1)”、“低(0)”の3段階でエビデンス総体に反映させる

** 上昇要因
各項目の評価は“高(+2)”、“中(+1)”、“低(0)”の3段階
まとめは“高(+2)”、“中(+1)”、“低(0)”の3段階でエビデンス総体に反映させる
各アウトカムごとに別紙にまとめる

アウトカム		診断率/安全性																									
個別研究		バイアスリスク*							上昇要因**			非直接性*				リスク人数(アウトカム率)											
		選択バイアス	実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス	その他	まとめ	量反応関係	効果減弱交絡	効果の大きさ	まとめ	対象	介入	対照	アウトカム	まとめ	対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)	効果指標(種類)	効果指標(値)	信頼区間		
研究コード	研究デザイン	背景因子の差	ケアの差	不適切なアウトカム測定	不完全なフォローアップ	不十分な交絡の調整	その他バイアス	まとめ	量反応関係	効果減弱交絡	効果の大きさ	まとめ	対象	介入	対照	アウトカム	まとめ	対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)	効果指標(種類)	効果指標(値)	信頼区間	
Wilcox BE 2009	症例集積	-1	-1	0	-1	-1		-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	NA	NA	NA	35	NA	NA				
Ambrosini V 2005	症例集積	-2	-1	0	-1	-1		-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	NA	NA	NA	15	NA	NA				
Flores RM 2003	症例集積	-1	-1	0	-1	-1		-1	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	-1	NA	NA	NA	63	NA	NA			
Elliott HS 2017	症例集積	-1	-1	0	-1	-1		-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	NA	NA	NA	101	NA	NA				

CTと比較、遠隔リンパ節転移で有用

CTと比較 NとMで有用

他検査との比較なし N3 M1に有用

CTと比較 NとMで有

Porcel JM 2010は総説のため記載していません。

コメント(該当するセルに記入)

【4-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	中皮腫の存在診断に a) 胸部造影CTは勧められるか?
対象	中皮腫患者
介入	胸部造影CT
対照	胸部単純CT

エビデンスの強さはRCTは“強(A)”からスタート、観察研究は弱(C)からスタート
* 各ドメインは“高(-2)”、“中/疑い(-1)”、“低(0)”の3段階
** エビデンスの強さは“強(A)”、“中(B)”、“弱(C)”、“非常に弱(D)”の4段階
*** 重要性はアウトカムの重要性(1~9)

コメント(該当するセルに記入)